

令和8年度 政策討論会 第1分科会(第2回)要点記録

- ・テーマ 男女共同参画、ジェンダーフリー社会の実現について
- ・日時 令和8年 5月 26 日(火)
- ・場所 議会会議室
- ・会議時間 10:00～11:00
- ・出席者 高比良 正明(座長)
藤原 豊和(副座長)
反甫 旭
南 加代子
井舎 英生
西田 武史
桑原 佳一
岸田 厚

＊座長、副座長以外は議席番号順

・決定事項

1. 次回までに各委員が第4期きしわだ男女共同参画推進プランを読み込み、達成できていない項目を中心に、各自の問題意識・提言を持ち寄って共有する。
2. 次回日程
令和8年 7月 7日(火)10:00～

・発言要旨

高比良座長

- ・マイクロアグレッションは、蚊に刺されることに似ている。黒人女性は 200 回蚊に刺される一方で、白人男性は 1 回刺されるだけ。白人男性は、蚊なんて不快だけれども、気にするほどでもないよと言えるかもしれないが、黒人女性の苦しみは耐えがたいものだと思像できる。これは日常の至るところに潜んでおり、ジェンダーに限らず、人種、年齢、体型など社会の中に根付いている無意識のバイアスで、ひとつひとつの不は小さなものかもしれないが、それが重なることで大きなダメージになる。
- ・このような社会を醸成するクウキが、日本社会、特に本市などでは根強く残っている。そのような地域の代表者として議員であることは、内閣府男女共同参画局が掲げるような施策について、議会・市民とも乖離があることを認識しなければならない。
- ・本市男女共同参画推進条例は 2011 年施行で、その後「あかしジェンダー平等の推進に関する条例」2023 年施行、品川区「ジェンダー平等と性の多様性を尊重し合う社会を実現するための条例」2024 年施行などがあるが、改定はない。
- ・今年改定された「第 4 期きしわだ男女共同参画推進プラン(改訂版)」においても、審議会への女性参加がいまだに 4 審議会でなされておらず、他にも中間目標を達成していないものがいくつかある。
これらを主体として、問題点、施策提言を次回は進めたい。

藤原副座長

- ・議論のテーマが幅広い中で、問題と解決手段を混同して議論をしてしまうとゴールが見えなくなる可能性が懸念される為、まずは共通の問題意識を持てるように議論をすることが大事ではないか。

反甫議員

- ・数値目標でギャップがある部分について、岸和田市としてどうしていくのか議論してみてもどうか。
- ・例えばハンドブックを作るなど具体的な要望をたたき台として、進めるのはどうか。
- ・討論会は岸和田市の行政に対する政策提言の場であり、具体的にどのテーマを扱うか絞り込みが必要。
- ・テーマを決めて各委員が事前に調べてくることで、議論を建設的に進めやすくなる。男女の賃金格差・働き方・家庭環境・ハラスメント・性的意識・育児等、各論に絞って議論する方向を提案。
- ・条例改定をゴールに先に置くのではなく、岸和田市の現状から共通の問題認識を持ち寄ることが先決。
- ・議論のテーマが幅広い中で、問題と解決手段を混同して議論をしてしまうとゴールが見えなくなる可能性が懸念される為、まずは共通の問題意識を持てるように議論をすることが大事ではないか。

南議員

- ・男女共同参画・ジェンダーフリー社会の実現は領域が広く、焦点を一つに絞ることは難しい。しかし現状、男女共同参画センターは「困難を抱えた女性の相談窓口」という認識が強く、施策推進の中核として十分に機能しているとは言い難い。各現課は男女共同参画プランに基づき目標を設定し、部長会等で進捗を把握しているようだが、センターが全ての施策に関与できているわけではない。その為、センターが横断的に関われるよう推進体制の強化が必要である。
- ・男女共同参画は分野が広く、どの分野を深掘りし討論・提案につなげるかがまだ絞り切れていない。座長が述べた「意識の醸成」は不可欠であり、年代によって課題認識が異なる点も踏まえる必要がある。特に、若者世代の意見を聴く場を設けることができれば、施策も広がると考える。
- ・男女共同参画のテーマには多様な考え方があるが、正しい理解を広げるための啓発が重要である。本市としても、パンフレットやチラシなどのツールを整備し市民への周知・啓発を進める必要がある。

井舎議員

- ・きしわだ男女共同参画推進プラン(改訂版)について情報共有し議論しましょう
- ・市の男女共同参画審議会の会議録を委員で情報共有しましょう。
- ・座長が、大声で且つ強く発言するのは慎むべきです。
- ・座長が、各種の審議会の存在を「市長施策を追認するだけの審議会だ」と頭から否定する発言はすべきでない。

西田議員

- ・先日行われた勉強会にて、「男女共同参画推進プラン改訂版」を基に現状を聞かせて頂き、このテーマの広さを再認識すると共に問題点の絞り込みの難しさを再認識した。
- ・その中で気になった事はDVによる相談が非常に多いという報告で、これに対して深掘して検討をしても良いのではないかと感じた。

桑原議員

- ・内容が多岐にわたるので、第4期きしわだ男女共同参画推進プランの中に絞って議論してはどうか。

岸田議員

- ・今回のテーマの範囲があまりにも広く、何から議論を進めればいいのか。
- ・今後の議論をするために「岸和田市男女共同参画推進条例」について、今一度検証をしてはどうか。
- ・現在の状況、ジェンダー問題なども含め、この条例の到達点を把握し、何が今必要なのか、求められるものは何かを、みんなで検証することで議論を進めていくことも必要ではないか。